

東京



東京総局

〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2

電話 03-3275-8747
FAX 03-5255-6634
shuto@sankei.co.jp

広告 042-525-4138

購読申し込み

0120-70-3034

配達・集金

0120-34-4646

紙面・記事

0570-046460

Web

http://www.sankei.com/
region/region.html

あすのこよみ

(4日)
日10月27日
《赤口》



狭小住宅に暮らす日本人の宿命ともいえる収納問題。解決策の一つとして「クラウド収納サービス」に注目だ。あふれる服や本などを箱詰めし、集荷人に預けて保管。倉庫では一点一点が写真とタグでデータ管理され、取り出しまでの一連の作業がスマホ上で完結する。預け時の配送料不要で保管料は月額数百円と手軽だが、想定外の利用に頭を悩ませている運営会社もあった。

(重松明子、写真も)

クラウド収納サービス

あふれるモノ 預けてすっきり スマホで管理



毛皮のコート、バッグ、レコード、アルバム、本にバーベキューセット……。千葉県市川市の倉庫に、おびただしい数の物が届いていた。保管料は箱の3辺合計160センチ・20センチ以内で月額500円だ。

倉庫ではスタッフが1点ずつ写真を撮り、ポリ袋に個別包装して管理コードを付け、再び箱に収めている。利用者は常時スマホで預けた品が一覧でき、必要になったときにはアプリで出庫を依頼する(取り出し配送料800円)。

一昨年にサービス開始。ユーザー1人当たりの預かり数は平均2〜3箱という。「1度使っていたけど、便利さを実感してもらえらる。服やイベント用品など季節物の入れ替え、今の時期なら大掃除に合わせて家をスッキリさせてください」とクラウド収納べ

自分が預けた物は、いつでもスマホで一覧できる

近ごろ都に流行るもの

「断捨離の一手前前利用される方も多い。保管のつもりでも、距離を置くと執着が薄れる。そんなときは『出品』の意思表示をすればユーザー間で0円から売り買いでき、相手先への発送作業もこちらで済みます。現在競合は5、6社ありますが、これは他社にないサービスです」

活況の背景には、東京五輪を控えた都心の土地価格の上昇により、専有・収納面積を抑えたマンションが増えていることもある。7月に業務提携した長谷工グループでは「同じ住戸でも、雑多な空間と整理された空間では生活スタイルも気持ちも変わる。預けることで生まれる空間と心のゆとりで、居住者の満足度を上げていきたい」と。

倉庫物流大手の寺田倉庫(品川区)は、平成24年にクラウド収納の草分け「ミニクラ」を始めた。

「トランクルームは自分で運ばなくてはならないし、手続も面倒。預けた物を忘れてしまつという声もあった。それらを解決する手段となります」と、ミニクラ担当の今成真之介さん(35)。



客から届けられた段ボールには夏物の服、本やCDなどが詰まっていた＝千葉県市川市の「トランク」倉庫

新規利用者は年々倍々ペースで増え、預かり品は延べ1700万アイテムを突破。事業規模でトランクルームを追い越している。

基本料金は1箱月額250円、取り出し配送料850円と格安。「実は1年くらいは預けていただかないと利益が出ない価格設定なのですが、短期の預かりが増えているのが悩みです」。客が預けた品のデータをフリマアプリなどに出品し、買い手が付くと、先方への発送を依頼する「安価な配送代行」として利用されている実態があるという。

預かり品はアパレル(服や小物)が4割。書籍類が2・5割、残りがフィギュアなどの趣味系で「これらは長く預けていたただけるので、大変ありがたい」と今成さん。

ミニクラの保管・物流システムを活用したBtoB(企業間取引)も拡大しており、日常着レンタル「エアークロセット」など、新興のシェアリングエコノミー(資産共有)ビジネスを支えている。

ファッション好き、コレクター、読書家……。断捨離できない「物持ち」は自分も含めて結構多い。生活感あふれるわが家も利用を検討中だ。